

ハジメマシテ、アナタ
ハジメマシテ、ワタシ
ハジメマシテは誰から誰に？
例えばこれは、
そんなたくさんの
ハジメマシテのひとつ。



2019年3月17日(日)~23日(土)
会期中無休・入場無料

11:30~18:30(最終日~17:00)

会場 **ぎやるり でんぐり**

主催 東京大学大学院博士課程教育リーディングプログラム多文化共生・統合人間学プログラム(IHS)
教育プロジェクトH「生命のポイエーシスと多文化共生のプラクシス」

協力 東京都社会福祉事業団 希望の郷 東村山、ぎやるり でんぐり
渡邊知樹(「希望の郷 東村山」絵画講師)、尾関立子(「希望の郷 東村山」絵画講師)



アマハ ナシジ タテメ 展

東京大学 IHS・希望の郷 東村山・ぎやるり でんぐり
コラボレーション企画

ハジメマシテアナタ展

日本では、1979年に養護学校が義務化し、障害があるとされた子どもたちと、「フツウ」とされた子どもたちは別々の場で毎日を過ごしてきました。私たち学生も、振り返ってみると、車椅子の友達や知的障害のある友達は多くはありません。「希望の郷 東村山」で障害のある人たちと出会い、彼らと私たちの日常があまりにも交差してこなかったことを思いました。この出会いの中で、印象的だったことのひとつが、さまざまな“つながり”の経験でした。この展覧会では、創作の場で生じていた“つながり”を、作品、音や写真、体験記などで伝えます。「ぎゅるり でんぐり」は日常にとけこんだギャラリーです。この日常の場に、新しい風が爽やかに吹き渡る1週間にしたいと思います。

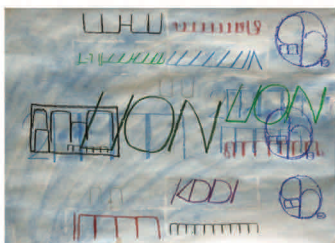
(東京大学IHS生一同)



IHS生 打ち合わせの様子@希望の郷 東村山



OGINO KOUEI



YAMAGISHI HIROSHI



KATOU YASUO



KUMAKIRI SATOSHI



M.R.



FUKUDOME EISHI

東京大学大学院 多文化共生・統合人間学プログラム (IHS)

文系・理系の枠をこえてさまざまな分野の学生たちが一緒に学ぶコース。多様な文化や考え方があふれる社会で、ちがいをを持った人々がともに生きるためにはどうすればよいのか? そんな“多文化共生”について、大学で研究を行いながら、社会と関わり現場での活動に取り組んでいる。

<https://ihs.c.u-tokyo.ac.jp/ja/>

希望の郷 東村山

東京都東村山市にある障害者支援施設「希望の郷 東村山」。18歳以上の重度の知的障害者が利用している。「安心」「信頼」「満足」のサービスを提供することを経営理念に掲げ、日々利用者支援に努めている。日中活動のひとつである絵画活動は、その作品が色彩の洪水とも言われ多くの人を驚かせている。

<http://www.kibou-s.or.jp/>

ぎゅるり でんぐり

下高井戸商店街のはずれ、2両編成の世田谷線がのんびり走る線路脇に立つ一軒家ギャラリー。生活のなかで気軽にアートに親しめる「街のギャラリー」として、地域や多様な人々と結びつき、企画展、ギャラリートーク、映画上映会、演奏会などを開催している。

<http://www.galeriedenguri.com/>

2019年 3月17日[日]~23日[土]

11:30~18:30 (最終日~17:00)

会期中無休・入場無料

鑑賞にあたってサポートや工夫が必要な方は、hajimemashiteanata@gmail.comまでお気軽にご相談ください。

◎ギャラリートーク

「福祉とアートの交差点」3月21日[木・祝] 15:00~16:30

◎登壇者

松井潤さん(「希望の郷 東村山」職員)

南控控さん(絵本・造形作家)

渡邊知樹さん(アーティスト、「希望の郷 東村山」絵画講師)

◎定員15名/参加費無料・要予約

hajimemashiteanata@gmail.comに

参加者名・人数をお送りください。

返信メールをもって予約完了とさせていただきます。



東京都世田谷区赤堤4-23-1 ☎03-6265-7375
<http://www.galeriedenguri.com>



京王線・東急世田谷線 下高井戸駅より徒歩4分
東急世田谷線 松原駅より徒歩4分